

5班 「ラインやフェイスブックなど、SNSへの市町P連での対応について」

*子供の使用方法ルール

- ・利用時間等のルールができていないと、無制限にSNSをしてしまう。
- ・自制心を養う家庭教育が必要かも。
- ・何が良い事なのか、何が悪い事なのかわからない時代が子供だと思いが、早く大人にさせられてしまう。論ずる場・仲間がいないうちにつながる若者。
- ・小学校6年生の子供、グループラインに気が付くと100件を超えている。
- ・皆で同じルールを守る。
- ・脳のために22:00以降はスマホ・タブレットは見ない。
- ・小学生は21:30
- ・蕨市ではSNSの子供向けガイドラインを作成した。使用方法や家庭でのルールづくり
- ・学校で、使う時間を決める。保護者にも守ってもらう。
- ・町でルールを決める。そのような環境を作る。
- ・子供が作るガイドラインがあると良い。
- ・持っていないと仲間外れにされる。
- ・SNS活用に関する、講師に依頼して講習会を開く
- ・時間が足りない。解決策を見つけられないかも。

*大人のマナー

- ・フェイスブックの利用・活用に関する知識が子供も大人も不足している。
- ・スマホを持たせる時には、親は子供を絶対を守る。守れないなら、持たせない。
- ・中学生 夜遅くまでやっていて、きりが無い。→P連では8時までに終わるルール→作ったが、なかなか徹底できない。
- ・ネット上にほかの人の子供の写真を勝手に載せてしまう人がいる。
- ・子供の前で「ライン保護者会」が始まる。示しが見つからない。
- ・PTAのライングループで夜中になってうるさい!と苦情
- ・PTAのラインで親も勉強 ・個人トークをグループでしていないか? ・裏ライングループあるの?ないの?
- ・親のスマホで子供のラインをやらせる。→ 子供が勝手に広げないように。「ほら、100件きているよ」と注意。
- ・大人のラインで入りたくない人もいる。
- ・大事な話はメールです。